



居留地会議

THE FORMER FOREIGN SETTLEMENT OF KOBE

居留地海岸通「神戸写真帳」(明治中期)・神戸市立博物館所蔵



1899

翔べ、次なる100年へ!!
未来を誓う記念イヤーの幕開け。

1999



居留地海岸通「神戸写真帳」(明治中期)・神戸市立博物館所蔵

旧居留地は本年度返還百年を迎えます。この記念すべき時に、明朗さ、ハイカラさ、シブトさ、精神を継承しながら神戸を代表する街をオシャレして闊歩したく思います。今日までの神戸の中核業務地として発展してきたこの地区の歴史を振り返るとともに“次なる百年へ翔ぼう”では在りませんか。

旧居留地連絡協議会居留地返還百年祭実行委員長
南 嘉明

神戸居留地返還100年祭に向けて

本年である平成11年7月17日は、居留地制度の解消から数えて100年目の節目を迎えます。戦災や震災という大きな試練を経ながらも、居留地時代の面影を今日に伝え、世界の人、物、情報の交流はもちろん、スポーツやファッションなどにおいての神戸の国際性、市民の開放性という特性は居留地によって形成されたともいえるでしょう。これから新たな時を刻むことになるこれを機に、この居留地返還100周年を祝い、国際都市神戸の個性豊かな魅力の人々に感じてもらうことができるよう「神戸・居留地返還100周年記念」の催しを企画し、市民や事業者の参加と協力を呼びかけています。世界の文明の窓口となり、日本に文明を発信してきた居留地の歴史を振り返るとともに、多文化共生の21世紀に向かって、国際文化都市神戸の果たすべき役割を再確認しようとするものです。

1999

記念イヤー 予定事業

- 返還100年シンボルマーク公募
- プロムナードコンサート
- 記念デー(7月17日)
記念式典・祝賀会・記念コンサート
- フェスティバル マンス(9月11日~10月11日)
フェスティバルマンスオープニングイベント
復興タウンギャラリー
- 記念出版
- グランドフィナーレ
- 第九コンサート

各委員会からの
お知らせ

各委員会では常により良いまちづくりを考え、さまざまな事業内容を展開しています。本年は居留地返還1さらに奥深い伝統を損なうことなく、新しい時代との融合を目指して、各テーマに基づき検討していきたく

都心づくり委員会活動報告



都心づくり推進委員会では、旧居留地の個性を守り、育て、創っていくために、下記の3部会にテーマを分けて活動してきました。

報 告

第1部会/景観形成検討部会

100周年記念行事との関連を考えて、「旧居留地ガイド」の作成に取り組んでいます。本年4月末には3万部を作成し、居留地を訪れる人に配布できるようにと考えています。

第2部会/まちなみ整備検討部会

居留地内の放置バイク、自転車の減少を目指して、さまざまな実態調査(アンケート調査など)を実施。昨年11月にはクリーン作戦に合わせて、放置車

に「注意を喚起する」シールを貼付しました。今後も行政と協力し、引き続きこの運動を進めていきたいと思えます。

第3部会/通信システム検討部会

防災委員会ともタイアップをし、居留地内の通信システムの確立を目指しています。各社のEmail調査の結果では、41社からの回答で16社が導入。これを受けて今後は旧居留地会員名簿にもEmailアドレスを入れることになりました。またインターネットについては、委員会の打ち合わせや連絡に活用したり、ホームページを作成して100周年の記念イベント案内などの情報を発信。旧居留地のイメージアップを図っていきます。

イベント委員会活動報告



プロムナードコンサート

第55回 4月29日(水・祝)

神戸フィルハーモニック・クラシックコンサート
(指揮:朝比奈千足氏)

第56回 7月18日(土)

神戸まつり協賛コンサート

第57回 12月19日(土)

旧居留地クリスマスコンサート

第九交響曲演奏会

●テレマン室内管弦楽団(指揮:延原武春氏)

●旧居留地第九合唱団

毎回、大好評を得ている居留地プロムナードコンサート。昨年度はさまざまな趣向を凝らした3回のコンサートが開催されました。まず、みどりの日に行われた神戸フィルハーモニック・クラシックコンサートでは、軽快な行進曲を中心に計7曲が演奏され、大盛況のうちに終了。また神戸まつりの恒例

緑化グリーン委員会活動報告

旧居留地の環境整備の一環として、当地区を花と緑のある清潔で美しい街にするために、活動しています。

●緑化活動

報告=新クレセントビルなどプランター6基の増設による飾花。

計画=プランターによる飾花活動の拡大。新たにプランター新增設の有無を引き続き調査。

●クリーン作戦

報告=実施日:平成10年12月4日

10~11時参加人数:約150名

(「ポイ捨て防止」運動のオープニングセレモニーを兼ねて実施)

計画=本年度も昨年同様にクリーン作戦として地区内の清掃活動を実施する予定(日程は未定)

●ポイ捨て防止重点区域の指定について

報告=昨年12月1日付で神戸市の「ポイ捨て防止重点区域」第3指定を受ける

・対象区域は旧居留地地区全域とする

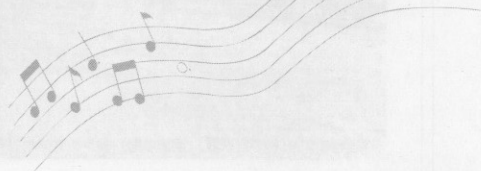
・ステッカー及びPR用のチラシを神戸市にて作成、各会員に配布

今後の検討事項

ステッカーは独自のものを作成する

・指定の「禁煙マーク」については使用しない

行事となった夏のコンサートでは、神戸を拠点に活動を続けるジャズマン、安藤義則さん率いるカルテット「グレートブルー」が登場。第2部には横浜出身の歌手、サラさんの歌もあり、こちらを訪れた家族やカップルを楽しませていました。一年の締めくくりともいえる旧居留地クリスマスコンサート・第九交響曲演奏会は約500人の聴衆を魅了しました。



神戸の外国人たち 居留地返還100年に寄せて



神戸市立外国人墓地 1996年(平成8) 3月 当館指導主事磯辺次雄氏撮影

神戸が開港して、去年の1月1日で130年を迎えました。この間の、神戸を拠点に活躍した外国人と日本人との“関わり”について、ここでは、外国人居留地が日本側に返還された、1899年(明治32)頃までを、簡単にたどります。

居留地は、幕末の通商条約に基づき、貿易を行うために外国人が居住を認められた一定区域をさします。この条約は不平等な条約でしたから、わが国の国際的地位の低さの産物とも言われますが、外国人の商業活動を開港場内に限定したこと、開港場の十里(約40km)四方(遊歩区域)から出るときは、日本側の許可を必要としたことなど、外国人の権利や活動を制限する面もありました。居留地が、日本の近代史の、いわゆる“光”と“影”の両方の側面からとらえられることは、言うまでもありません。

しかし、神戸に居留地が設けられたことは、日本の近代化に、神戸が大きな役割を果たすことにつながります。船が海外との唯一の交通手段だった当時、居留地は貿易の中継基地であり、欧米をはじめとする外国文化流入の窓口でもありました。

早い時期から、直接外国人と接することのできた神戸の人たちは、貿易活動から土木や建築技術、衣食住、宗教などの精神活動に至るまで、あらゆる面でさまざまな影響を受けたと言えます。

神戸の外国人は、各国領事と居留民の代表・日本側官吏からなる居留地会議を組織して、居留地を管理・運営し、警察組織を備えていたのをはじめ、彼ら独自の社会を持っていました。1894年(明治27)に来神し、英字新聞『コーベ・クロニクル』の論説を書いたラフカディオ・ハーンが「イギリスやアメリカにありきたりのものは、ほとんどなんでもここへ移植されてきている」と皮肉を込めて記したように、“西洋”をそっくりそのまま持ち込んだといった感がありました。

居留地は、神戸より早く、横浜・長崎[1859年(安政6)開港]、大阪[神戸と同じ1868年1月1日(慶応3年12月7日)に開市(のち開港)]、東京築地[1869年(明治元年)開市]などに設けられ、改正条約の実施に伴い、1899年(明治32)に廃止されます。

さて、神戸居留の外国人は、(統計上の制約や戦争の影響などで増減

しますが)開港以後増え続け、居留地返還の年の1899年(明治32)には2,636人に及びます。この6割が中国人、2割にあたる540人あまりがイギリス人で、アメリカ人、ドイツ人がこれに続きます。彼らの職業は、国籍によって異なりますが、1905年(明治38)の記録では、欧米系では商社員・貿易商・銀行員などが多く、イギリス・アメリカ・フランス人の宣教師の活動も知ることができます。中国人では仲買人・裁縫業・呉服商などが多いのも特色の一つです。

左の写真は修法ヶ原(北区)の神戸市立外国人墓地です。1874年(明治7)の神戸―大阪間の鉄道開通に尽力した技師C.シェパードやT.グレー(ともにイギリス人)、薬剤師で居留地消防隊長をつとめたA.C.シム(イギリス人)ら、神戸と日本の近代化に貢献した、多くの外国人が葬られています。現在は、40数カ国、2,600人あまりの人々が緑に囲まれて静かに眠っています。

外国人墓地に葬られた人々、A.H.グループ(歴史散歩シリーズ5)やドイツ人貿易商デラカンブラ、自らの意思で夫人とともに日本人墓地に眠る人々、居留地を設計したイギリス人土木技師J.W.ハートら一定期間滞在して確かな足跡を残した人々。史料を紐解いていくと、彼らが想像以上に世界的な規模で活動していることに、驚かされます。

この7月17日で居留地返還100年を迎えます。旧居留地や外国人墓地、異人館など身近なところからも、神戸で活躍した外国人の足跡をたどることができます。今につながる当時の人々の活動に思いを馳せながら、私たちの日々の暮らしや“神戸の街”を見直してみるのも、また楽しいかもしれません。

神戸市立博物館学芸員 田井玲子

新 会 員 募 集

●入会のお問い合わせ、お申し込みは
神戸市中央区京町79 南棟
TEL.078(222)2700 佐久間まで

旧居留地連絡協議会

神戸市中央区播磨町30大丸コーポート7階
TEL.078(332)0151 FAX.078(332)0052